*この記事は協議会 会員向けメールマガジン用に取材したもので、お話しを伺った方の肩書等は当時のものです(2017年7月配信)

_____ - : ◇◆ 団体 Topics◆◇ ——

「 一般社団法人 日本産業カウンセラー協会 」の巻

■□ 今月は東京都港区にある一般社団法人 日本産業カウンセラー協会をご紹介します。キャリアコンサルタント養成事業部 坂本眞理子さんにお話を伺いました。

●日本産業カウンセラー協会は2015年に創立55周年を迎えられたんですね

協会が創立されたのは 1960 (昭和 35) 年ですから、今年で 57 年になります。現在、支部が全国 13 か所にあり、1971 年に始まった「産業カウンセラー」試験で約 60,000 人、2003 年から 2015 年までの「標準レベルキャリア・コンサルタント」の養成では、12,000 人以上の有資格者を輩出してきました。創立時とは産業社会の構造は変化しましたが、働く人々を取り巻くその時代ごとの課題に対応しながら「働く人と組織を支える」ために様々な活動を行う姿勢に変わりはありません。

●社会の課題に対応するために、これまで多くの「産業カウンセラー」、「キャリアコンサルタント」を輩出されてきたわけですが、「産業カウンセラー」と「キャリアコンサルタント」はどのような点が異なるのでしょうか

両方ともカウンセリングの基本である「傾聴」や、メンタルへルスに関する知識など、 共通する部分も多くありますが、2つの資格は「働く人を支援する際に果たす役割」が異なります。キャリアコンサルタントは、仕事を通しクライエントの人生そのものにかかわり問題解決を傾聴によって支援し、産業カウンセラーは、職場の環境改善やメンタルへルスへの対応に特に強みを持ち、心を深く聴くための傾聴によって支援します。また、「ストレスチェック制度」でも活躍します。この2つの資格を学ぶことは働く人に対して更に適切な支援を可能にしますし、その双方を網羅しているところが当協会の強みだと思います。

●守備範囲は多少異なるものの、その基本には「傾聴」があるわけですね

相談場面では限られた時間の中で、関係構築、問題把握、目標設定、問題解決へのステップを進んでいくことになりますが、その時にきちんと話を聴いてクライエントとの関係

構築をはやくしっかりと作ることが面談を進めるうえでは重要だと考えており、当協会の「キャリアコンサルタント養成講習」でも傾聴の演習部分は厚めにおこなっています。私自身、指導のほかキャリアコンサルタントとして現場での面談も行っていますが、目の前のクライエントと向かい合っていると、やはり気持ちを扱う部分の勉強は大切なんだということを実感しますね。

●「キャリアコンサルタント養成講習」の話が出てきましたので、講習の特徴についても う少し教えていただけますか

当協会の指導者は、キャリアコンサルタントとして実践現場の事例を持っているので、今の事例や新しい情報をもとに指導ができることや、リファー先について適切に判断するための知識や視点も持っていますから、実務家としてキャリア分野だけでなくメンタルへルスの指導もできるところが強みです。講師として抱えていないのでおのずと実務家になるという面もあるかもしれませんが、専門性を持った実務家、プロの集団がトレーニングされ指導をしている感じです。クラスの定員は最大30名ですが、演習は演習講師1人に対して受講者6人を1グループとする少人数制で手厚い指導を行っており、演習の際には参加しない人がいないよう必ずそれぞれの役割を体験し学ぶようになっています。さきほどお話しした「傾聴」、関係構築の部分は大切にしていますが、もちろん聴くだけで終わるのではなく、関わって問題解決まで進めるようなカリキュラムとして、すぐに実践で活かせるようなプログラムを意識しています。

●受講者はどのような方が多いのですか

本当にいろいろな方が受講しにこられますが、産業カウンセラーに看護師や保健師の方が多いのでその分野の方も多いです。最近では、社労士や弁護士事務所、専門学校の事務局の方なども増えてきて、本業サービスの付加価値としていろいろな場面でキャリアコンサルティングが求められるようになってきたように感じています。指導者が手厚くクラス運営に関わっているということもあるでしょうが、あっという間にクラス全体でスクラムを組んでみんなで助け合うといった雰囲気になるのは、やはり対人支援を志す方々の集まりならではですね。このような関わりの中から自身も指導者を目指す方も多く、指導者への道は簡単ではありませんが、自分が講座で指導してもらったことをのちの受講者にも受け継ぎたい、誰かのために役立ちたい、といった思いが DNA のように流れている感じがあります。

●指導者への道の話が出ましたが、貴協会では資格取得後にどのような活かし方があるのでしょうか

指導者以外では、支部で行っている会員研修の講師や応札業務への派遣、電話相談員など、主にご自身が所属している支部で活躍の機会を探していただくことが多いです。また、協会の無料職業紹介制度をご利用いただくこともできます。もちろん、それら業務を行っていただくためにはそれ相応の研鑽が求められることはご理解いただきたいと思います。

●資格を取ればすぐに仕事ができるわけではないですからね。最後に、読者の方にメッセージをいただけますか

やみくもにただキャリアコンサルタントになりました、ではなく、何か目標をもって、キャリアコンサルタントとしての自分の専門分野を確立していってほしいですね。そうすることでおのずとその分野で勉強しなくてはいけないことや研鑽を積まなくてはいけないことが見えてくると思います。待っているだけでは活躍の機会は来ませんから、ネットワークを張り巡らして自分から動いてくことも必要だと思います。当協会には更新講習やスーパービジョン制度など研鑽の場だけでなく、協会全体での社会貢献の場や全国研究大会での研究発表機会などをいろいろな場面をご用意していますので、お互いに高みを目指して積極的に活用していただきたいですね。

【 団体基本情報 】

一般社団法人 日本産業カウンセラー協会 (東京都港区新橋 6-17-17 御成門センタービル 6 階)

団体の HP はこちら→http://www.counselor.or.jp/ キャリアコンサルタント養成講習の HP はこちら→http://www.jaico.cc/